

エイズ等性感染症対策について

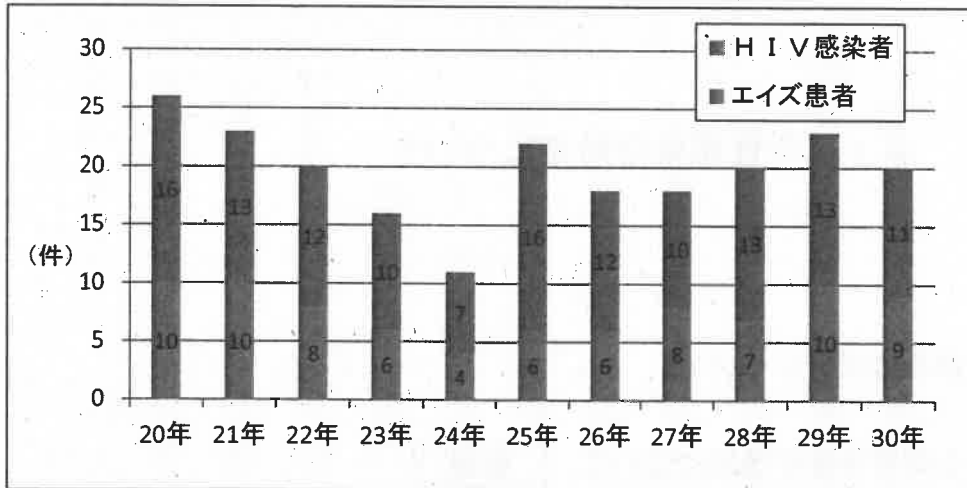
- 1 発生動向と京都府の対策について
- 2 保健所における梅毒検査の追加について

新規

京都府のエイズ・性感染症対策(概要)

平成31年3月
京都府健康対策課

【京都府における後天性免疫不全症候群報告数の状況(京都市を含む)】



京都府広報監 まゆまる

- ◆平成30年の報告数は、HIV感染者11件、エイズ患者9件で女性1名、男性19名。累積報告数は408件
- ◆いきなりエイズ比率(後天性免疫不全症候群の報告数の中でエイズ患者の占める割合)は、45%
(全国29.7%)
- ◆平成30年報告数の感染経路内訳は、同性間性的接触が50%

【後天性免疫不全症候群報告数の状況の全国・近畿・京都府の比較】

報告件数		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
京都府	HIV	16	12	10	13	13	11
	AIDS	6	6	8	7	10	9
保健所	HIV	2	1	2	2	3	0
	AIDS	1	2	2	2	1	2
京都市	HIV	14	11	8	11	10	11
	AIDS	5	4	6	5	9	7
近畿	HIV	236	206	218	185	174	217
	AIDS	96	82	81	77	81	
全国	HIV	1,106	1,091	1,006	1,011	976	1,292
	AIDS	484	455	428	437	413	

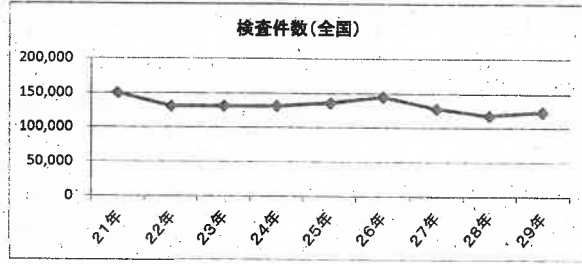
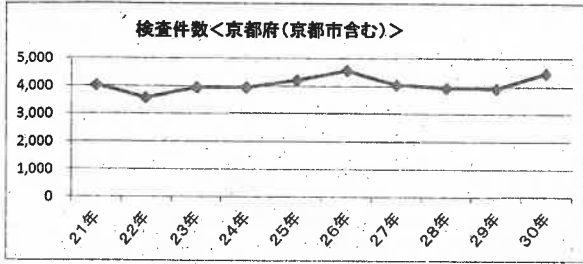
【京都府におけるHIV検査の実施状況】

検査件数(件)			27年	28年	29年	30年
京都府	保健所	従来検査	148	120	117	142
		即日検査	411	331	288	240
		夜間即日(再掲)	19	10	7	5
	拠点病院	0	0	0	0	
小計			559	451	405	382
京都市			3,495	3,501	3,523	4,093
府市計			4,054	3,952	3,928	4,475

- ◆平成30年の京都府のエイズ相談・検査の実施件数は共に昨年より増加
- ◆京都府のHIV検査における陽性者数は、毎年3~4人で横ばい傾向にある

【HIV検査件数推移】

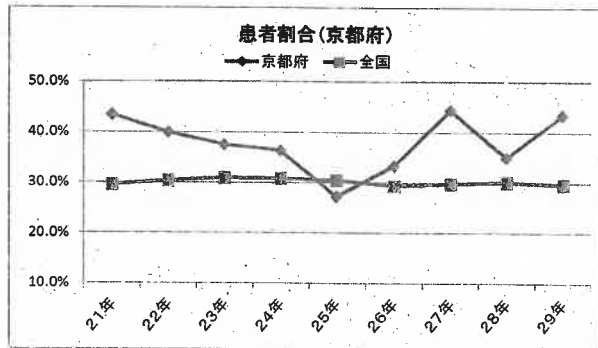
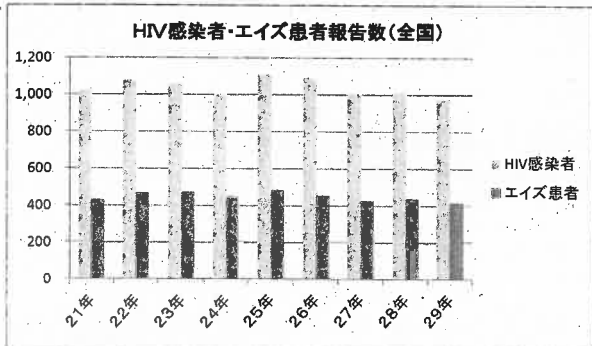
	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
京都府 (京都市含む)	4,032	3,578	3,951	3,954	4,219	4,574	4,054	3,952	3,928	4,475
全国	150,252	130,930	131,243	131,235	136,400	145,048	128,241	118,005	123,432	



【新規エイズ患者・新規HIV感染者年次推移】

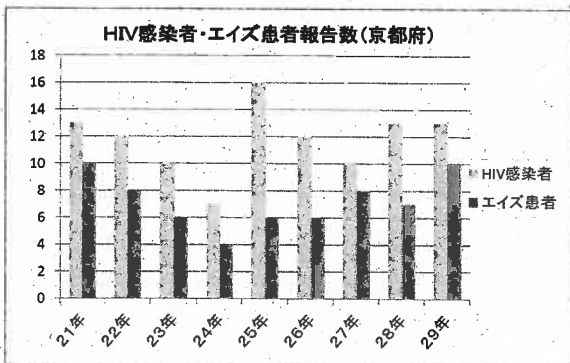
〈全国〉

	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
HIV感染者	1,021	1,075	1,056	1,002	1,106	1,091	1,006	1,011	976
エイズ患者	431	469	473	447	484	455	428	437	413
計	1,452	1,544	1,529	1,449	1,590	1,546	1,434	1,448	1,389
患者割合	29.7%	30.4%	30.9%	30.8%	30.4%	29.4%	29.8%	30.2%	29.7%



〈京都府(京都市含む)〉

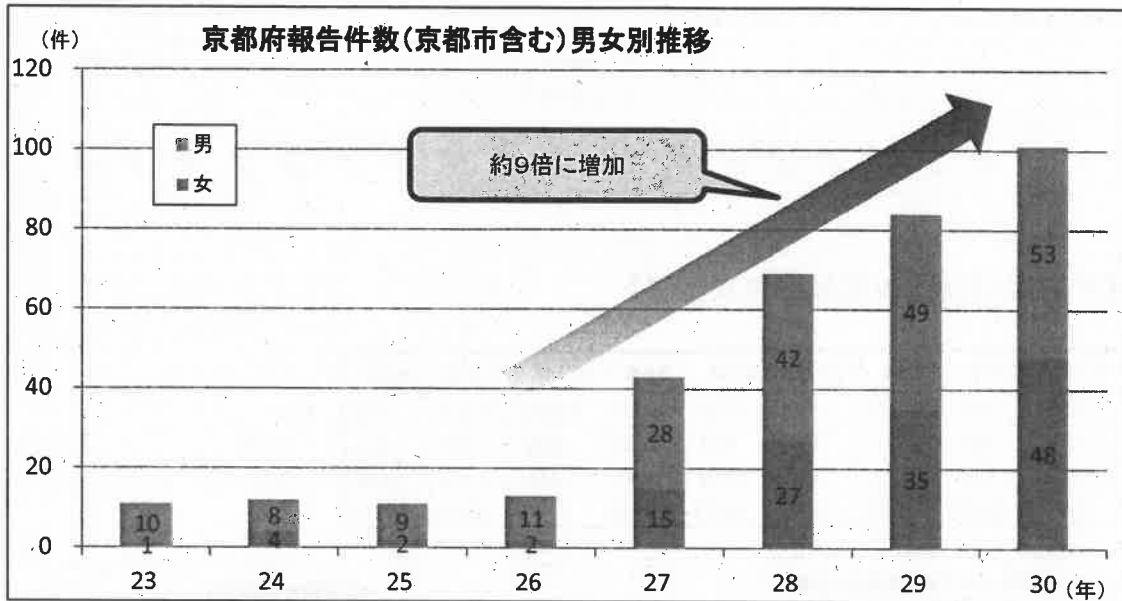
	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
HIV感染者	13	12	10	7	16	12	10	13	13	11
エイズ患者	10	8	6	4	6	6	8	7	10	9
計	23	20	16	11	22	18	18	20	23	20
患者割合	43.5%	40.0%	37.5%	36.4%	27.3%	33%	44%	35%	43%	45%



※ヒトはHIVというウイルスに感染すると免疫力が徐々に低下し、本来なら自分の力でおさえることのできる病気等を発症(エイズ発症)します。

※しかし、HIVの感染を早期に発見し治療を行うことで、日常の生活や仕事を続けることができます。

【京都府における梅毒報告数の状況(京都市を含む)】



京都府ホームページに掲載

- ◆京都府(京都市)における平成30年報告数は101件で、京都府36件、京都市65件
- ◆平成30年報告数のうち、10代、20代は49件で、全体の48.5%
- ◆平成25年報告数と比べ、約9倍の増加

【全国・近畿における梅毒報告数の状況】

報告件数	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
京都府	11	13	44	69	84	101
府保健所	3	2	5	18	13	36
京都市	8	11	38	51	71	65
近畿	221	327	510	928	1,198	1,657
全国	1,228	1,661	2,690	4,575	5,820	6,923

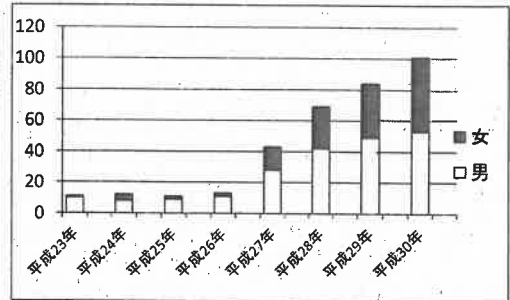
- ◆全国の報告数が6,000件を超えるのは、1970年以來

京都府における梅毒届出の状況

○京都府報告数(京都市含む)

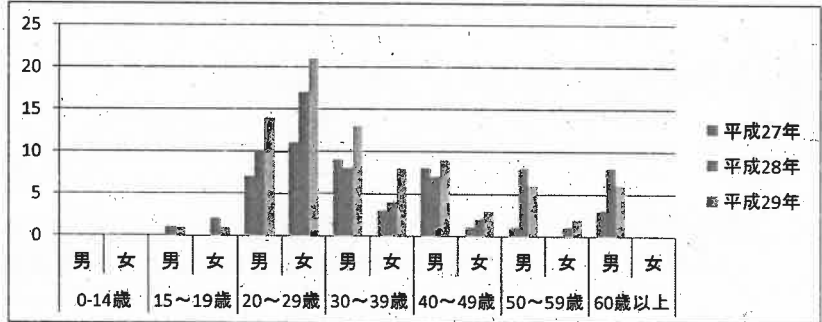
1) 年次推移

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
男	10	8	9	11	28	42	49	53
女	1	4	2	2	15	27	35	48
計	11	12	11	13	43	69	84	101



2) 年代別、性別

年代	0~14歳		15~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60歳以上		不明	小計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
平成27年	0	0	0	0	7	11	9	3	8	1	1	0	3	0	0	28	15
平成28年	0	0	1	2	10	17	8	4	7	2	8	1	8	0	0	42	26
平成29年	0	0	1	1	14	21	13	8	9	3	6	2	6	0	0	49	35



○京都府報告数(京都市除く)

1) 年代別、性別

年代	0~14歳		15~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60歳以上		不明	小計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
平成27年			1	0			3				1					5	0
平成28年			1	1	5	2			3		1	1	4			14	4
平成29年					2	1	2		3	1	1		3			11	2
平成30年			4	4	4	4	4	4	6	3	2		4	1		20	16

2) 病型別

年次	早期顕症		晩期顕症	先天梅毒	無症候	小計
	I期	II期				
平成27年		1			4	5
平成28年	7	4	1		6	18
平成29年	5	4	2		2	13
平成30年	11	12			13	36

3) 感染経路別 ※1 両性間についても含む

年次	性的接触		鍼灸の脱 利なもの の刺入	静注薬物 常用	輸血・ 血液製剤	母子感染	その他(不 明含む)	小計
	異性間	同性間 ※1						
平成27年	2						3	5
平成28年	9	1	6				2	18
平成29年	8		2				3	13
平成30年	24	0	7				5	36

府民へ	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域の医療機関医師、NPO法人等と協働し、AIDS文化フォーラムin京都の実施(9月29日) (³⁰ 300 ²⁹ 1,000 ²⁸ 1,000 ²⁷ 1,200 ²⁶ 1,200) ◆HIV検査普及週間(6月1日～6日)の取組 各保健所において、検査受付日及び時間を拡充(夜間検査を含む) (週間受検数 ³⁰ 13 ²⁹ 12 ²⁸ 14 ²⁷ 22 ²⁶ 27) ◆京都府エイズ予防月間(12月)の取組 ・各保健所において検査受付時間を拡充(夜間検査含む) (月間受検数 ³⁰ 42 ²⁹ 34 ²⁸ 40 ²⁷ 59 ²⁶ 52) ・教育機関と協働した予防啓発や、京都タワー・京都府庁旧本館のライトアップ等の啓発活動の実施 																																														
予防啓発 青少年へ	<ul style="list-style-type: none"> ◆各市町村の成人式等で啓発資材を配布し、大学生等若年者層への重点啓発を実施 使用資材:パンフレット、ボールペン等 ◆エイズ等予防啓発ボランティアネットワーク「紅紐」の活動 HIV/エイズや性の多様性に関する正しい知識や理解を大学生等青少年層に普及させることを目的に養成 (参加者数 ³⁰ 7 ²⁹ 12 ²⁷ 18 ²⁶ 18 ²⁵ 27) ◆各保健所が主体となり、大学、専門学校、高等学校及び中学校等での出前授業を実施 (実施校数 ³⁰ 実施中 ²⁹ 14 ²⁸ 16 ²⁷ 23 ²⁶ 23) ◆AIDS文化フォーラムin京都の講座として、教育関係者を対象とした性感染症研修会を実施 (³⁰ 台風の影響により中止) 																																														
男性同性愛者へ	<ul style="list-style-type: none"> ◆男性同性愛者を対象とした相談室を開設 (相談件数 ³⁰ 実施中 ²⁹ 58 ²⁸ 46 ²⁷ 41 ²⁶ 35) 																																														
医療体制	<ul style="list-style-type: none"> ◆エイズに関する総合的かつ高度な医療の提供と、地域の他の医療機関への情報提供・技術的支援等を目的に、エイズ治療拠点病院9病院を選定(うち、京都大学医学部附属病院は中核拠点病院) ◆HIV/エイズ診療に関する正しい知識の啓発のため、平成25年度より、一般医療機関、透析施設、歯科診療所、精神病院の医療従事者を対象とした研修会を開催。 <table border="1" data-bbox="231 1265 1412 1489"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>²⁹</th> <th>²⁸</th> <th>²⁷</th> <th>²⁶</th> <th>²⁵</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般医療機関</td> <td>50</td> <td>38</td> <td>36</td> <td>79</td> <td></td> </tr> <tr> <td>透析施設</td> <td>31</td> <td>20</td> <td>44</td> <td>55</td> <td></td> </tr> <tr> <td>歯科診療所</td> <td>30 (北部)</td> <td>32 (南部)</td> <td>34 (北部)</td> <td>75 (南部)</td> <td>60 (北部)</td> </tr> <tr> <td>精神病院</td> <td>53</td> <td>17</td> <td>24</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>平成30年度より、地域の保健所との協働により実施。(実施状況は別紙のとおり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆府内の病院にエイズカウンセラーを派遣し、感染者/患者やその家族等のメンタルケアを実施 <table border="1" data-bbox="231 1646 1412 1713"> <thead> <tr> <th></th> <th>³⁰</th> <th>²⁹</th> <th>²⁸</th> <th>²⁷</th> <th>²⁶</th> <th>²⁵</th> <th>²⁴</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣件数</td> <td>実施中</td> <td>90</td> <td>100</td> <td>127</td> <td>166</td> <td>137</td> <td>178</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ◆針刺しなど血液・体液暴露による感染を防止するため、エイズ治療拠点病院を中心に府内12医療機関に抗HIV薬を配置 (使用実績：³⁰(2月末現在) 4件 ²⁹ 3件) 平成29年4月に、HIV予防薬の予防服用に係るマニュアル「血液・体液曝露等発生後のHIV感染防止体制整備マニュアル」を改訂、配置医療機関への説明会、関係機関に周知 	対象	²⁹	²⁸	²⁷	²⁶	²⁵	一般医療機関	50	38	36	79		透析施設	31	20	44	55		歯科診療所	30 (北部)	32 (南部)	34 (北部)	75 (南部)	60 (北部)	精神病院	53	17	24				³⁰	²⁹	²⁸	²⁷	²⁶	²⁵	²⁴	派遣件数	実施中	90	100	127	166	137	178
対象	²⁹	²⁸	²⁷	²⁶	²⁵																																										
一般医療機関	50	38	36	79																																											
透析施設	31	20	44	55																																											
歯科診療所	30 (北部)	32 (南部)	34 (北部)	75 (南部)	60 (北部)																																										
精神病院	53	17	24																																												
	³⁰	²⁹	²⁸	²⁷	²⁶	²⁵	²⁴																																								
派遣件数	実施中	90	100	127	166	137	178																																								
課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆青少年層・リスク層への効果的な啓発 ◆HIV・性感染症の早期発見 ◆患者・感染者の高齢化にともなう、医療・介護体制の整備 																																														

平成30年度 従事者研修会開催状況

従事者研修会については、平成25年度から、一般医療機関、透析施設、歯科診療所等の医療従事者に HIV/エイズ等に関する正しい知識を伝えることで、エイズ治療拠点病院を中心とした、エイズ診療体制を整備することを目的に実施している。

平成30年度からは、地域の保健所と協働により実施。

○一般医療機関・透析施設対象

(京都市内)

- 1 開催日：平成30年11月17日(土)
- 2 場所：京都大学医学部附属病院
- 3 出席者：計26名
(職種内訳) 医師 3名、看護師 7名、臨床検査技士 1名、臨床工学技士 1名
保健師 12名、その他 2名
- 4 概要：講演1「血液媒介感染症と感染予防対策」
京都大学医学部附属病院 血液内科助教 白川康太郎氏
講演2「HIV・エイズ患者の透析治療の現状」
独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター
腎臓内科 科長 岩谷博次氏

(北部地域)

- 1 開催日：平成31年3月16日(土)【予定】
- 2 場所：京都府中丹西保健所 講堂
- 3 概要(講師)：京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学 福田寛文氏
堺市立総合医療センター 腎代謝免疫内科部長 松浦基夫氏

○歯科診療従事者対象(南部地域)

- 1 開催日：平成31年1月19日(土)
- 2 場所：京都府乙訓保健所 講堂
- 3 出席者：計43名
(職種内訳) 歯科医師 20名、歯科衛生士等 23名
- 4 概要：講演1「血液感染症と感染予防対策」
京都大学医学部附属病院血液内科 特定病院助教 新堂啓祐氏
講演2「歯科と HIV 感染症 ～そして感染対策の基本～」
兵庫県立柏原病院 歯科口腔外科 連利隆氏

平成31年度当初予算案主要事項（平成30年度2月補正含む）説明

健康福祉部

事業名	エイズ等性感染症予防対策事業費		新規・継続の別		一部新規
	国庫	繰入金	その他	一般財源	
予算額	7,773千円		3,886	—	3,887
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 趣 旨</p> <p>エイズ患者・HIV感染者の届出数は依然として横ばい傾向であり、一方で梅毒患者数が急増していることから、府民の利便性に配慮した検査・相談体制を拡充するなど、性感染症の予防及び早期発見・早期治療を推進する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 保健所等における検査・相談事業</p> <p>① 府保健所における梅毒無料検査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 府保健所における性器クラミジア感染症無料検査の実施 府保健所におけるHIV無料検査の実施等 相談・検査従事者の資質向上のための研修 等 <p>(2) 予防啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> エイズ等性感染症研修会の開催 男性同性愛者向け専門相談の実施 エイズ文化フォーラムin京都への参画 等 <p>(3) 医療体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> エイズ治療拠点病院等へのカウンセラーの派遣 針刺し事故によるHIV感染防止のための予防薬のエイズ治療拠点病院等への配置 HIV医療従事者研修 等 				
担当課・担当名	健康対策課	感染症対策担当	課・担当 電話番号	075-414-4734	

健康福祉—00

